

ひろの 議会だより



帰町に向け 生活環境整備の補正予算

町の将来に向けた確かな一歩を (12月定例会)②

工事請負契約の変更契約とは (定例会質疑)⑧

町政運営の方針など 7議員が町政を問う (一般質問)⑫

再会喜び、ふるさと広野で夢誓う

(社会に羽ばたく新成人の皆さん)

No.120

平成26年2月7日発行
福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

平成25年第4回定例会開催

広野町の未来へ 確かな歩みを

新年のごあいさつ

広野町議会議長 鈴木紀昭



2014年の年頭に
あたり、謹んで新年の
ごあいさつを申し上げ
ます。

東日本大震災から3
度目の新年を迎えまし
た。

原子力災害による影
響は、いまだに町民の
皆様に大きな不安を残
しております。

議会は、昨年、町民

の帰町促進や健康維持
増進などを重点に事業
展開した町を後押し、
ふるさとへ帰町するた
めの条件整備に努めま
した。

町内の学校やイベン
ト会場では多くの方で
にぎわい、子どもたち
の元気な姿も少しずつ
見られるようになって
きました。

この復興の歩みを確
かなものにしていか
なければなりません。

そのためには、行政
と一体となり町民の皆
様の安全・安心をしっ
かり確保してまいりま
す。

今後とも、議員一同
ふるさとの誇りを胸
に、明るく元気な広野
町を目指し、一日も早

い復興・再生に鋭意努
力してまいります。

どうか本年も、より
一層のご指導、ご協力
を賜りますようお願い
申し上げますとともに、
本年が皆様にとっ
て幸せ多い年でありま
すよう、心よりご祈念
申し上げます。新年
のあいさつといたしま
す。

12月定例会

平成25年第4回定例
会を12月24・25日の会
期で開きました。

審議し、すべて原案ど
おり可決しました。
なお、一般質問では
7人の議員が、それぞ
れ町の対応や考えを問
いただきました。

後、初め、補正予算や人事案
件など18議案を慎重に

遠藤町長所信表明

～町政運営の5つの柱～

- 生活再建への取り組み強化
- 町的生活環境を整備
- 発展を促進し、新しい町づくり
- 町民の意見を町政に反映
- 教育の充実

私が取り組む町づくりは、町民の
皆様との合意を大切にした町民総参
加型の町づくりであります。今なお
多くの町民が町外での避難生活を
送っておりますが、避難している町
民全員が広野町への帰還を果たせる
よう、職員と共に一丸となって、全
力で取り組んで参ります。

こんなことが決まりました

厳しい財政状況の軽減を

町長の給与を月額 30%、教育長の給与を月額15%減額する議案を全会一致で可決しました。

復興再生への道路を整備

常磐線広野・木戸間久保田こ道橋新設工事委託に関して、26年春の竜田駅までの再開通で、年度内の工事量が増加したことによる変更協定の増額を全会一致で可決しました。

工事の名称（変更なし）

常磐線広野・木戸間久保田こ道橋新設工事

施行場所（変更なし）

下北迫字久保田地内

協定の年度（変更なし）

平成25年度～平成26年度

工事請負代金

4億1908万6000円を

4億3333万0000円に変更

請負者（変更なし）

東日本旅客鉄道株式会社



工事が進む久保田こ道橋

崩落の危険に備える

追加対策工や資材・労務費等の物価上昇に伴う変更契約を全会一致で可決しました。

工事の名称（変更なし）

苗代替地区造成宅地滑動崩落緊急対策工事

施行場所（変更なし）

下北迫字苗代替地区

工事請負代金

8505万0000円を

1億843万350円に変更

請負者（変更なし）

横山・西武特定建設工事共同企業体



工事が行われている苗代替地区

教育委員会委員人事案件に同意

教育委員会委員に根本修行氏を任命することに同意しました。

教育委員会委員



ねもと ながゆき
根本 修行 氏 (61)
(大字下浅見川)

監査委員人事案件に同意

監査委員に横堀章氏を任命することに同意しました。

なお、同意に関して討論が行われ、採決の結果、賛成6、反対5でした。

代表監査委員



よこぼり のぼる
横堀 章 氏 (71)
(大字下北迫)

反対

監査するという能力に疑念を感じる

塩 史子議員

人間は年を重ねると同時に記憶力・集中力・判断力等が衰えていくのが常です。

今回の人事案件については地方自治法が求

めている財務管理、各事業の経理管理、その他の行政運営を監査するという能力に疑念を感じます。

討論の末

6対5で可決
広野町監査委員の選任に関する同意を求めることについて

賛成

信用金庫支店長という職務経験は適任

渡邊正俊議員

地元に関係のある信用金庫に長年勤めて支店長という職務を務め、人柄も十分に承知しています。われわ

れの仕事の中でもきちっとした意見を述べる方であり、適任者だと思っています。



人事案件について討論・採決が行われました

【反対】

塩 史子
黒田 政徳
門馬 巧
畑中 大子
小磯 利雄

【賛成】

坂本 紀一
渡辺 久長
渡邊 正俊
北郷 幹夫
門馬 まりえ
遠藤 浩

復興事業に必要な土砂の確保へ

広野駅東側開発整備事業および広野駅東地区における津波被災復興のための海岸・河川災害復旧工事、津波対策のための防災緑地工事に必要な盛土材として、土砂を確保するための用地、また、下北追字東町地区整備事業に必要な用地を確保するための議案を可決しました。

財産の取得
取得財産土地所在地
 上浅見川字菅の沢 他
取得財産地目
 山林、田
取得面積
 1万5753㎡
取得目的
 総合グラウンド西側土取り事業用地
取得価格
 2842万2330円

財産の取得
取得財産土地所在地
 下北追字岩作 他
取得財産地目
 山林、田、雑種地
取得面積
 2万872㎡
取得目的
 駅東側地区不足土対策事業用地
取得価格
 2222万3350円

財産の取得
取得財産土地所在地
 下北追字東町
取得財産地目
 宅地、山林
取得面積
 9502.96㎡
取得目的
 東町地区整備事業用地
取得価格
 7592万8650円



土砂を確保するための総合グラウンド西側菅の沢地区

遠藤氏(44)が初当選

広野町 議会議員



えんどう ひろし 氏
 遠藤 浩氏
 (大字折木)

平成25年11月24日執行の広野町長選挙・広野町議会議員補欠選挙により遠藤浩氏が無投票で(立候補者が定数を超えなかったため)当選しました。

帰町へ向けた復興・再生を 5億1026万円追加補正

災害公営住宅整備費を中心に

会計名		補正額	補正後額
一般会計		4億1513万円	124億5469万円
特別会計	国民健康保険	1934万円	9億5180万円
	土地開発事業	1億2057万円	4億559万円
	公共下水道事業	△5857万円	5億8706万円
	介護保険	1379万円	4億8031万円
小計		9513万円	24億2476万円
合計		5億1026万円	148億7945万円

● 主な内容 ●

<歳入>	
復興交付金	3億2917万円
特別交付税	3331万円
<歳出>	
災害公営住宅整備事業費	2億4500万円
復興道路整備事業	1億4644万円
津波被災者等住宅支援事業費	7050万円
し尿塵芥処理費	1451万円

※金額は、全て万円未満を切り捨てて表示しています。



急ピッチで建設が進む災害公営住宅

12月定例会に提出された平成25年度一般会計補正予算(専決処分含む)ならびに4つの特別会計補正予算は、東日本大震災および原子力災害に伴

う甚大な被害から復興を図るための提案で、歳入歳出それぞれ5億1026万円が追加補正されました。

津波被災者等住宅再建支援事業補助金、し尿塵芥処理費、復興道路整備事業費、災害公営住宅整備事業費、特別会計への繰入金の増額です。

歳入の主なるものは、震災復興のための財源で、地方交付税、国庫支出金、県支出金、繰入金等の計上です。

12月定例会 質疑

復興への具体策と 将来につなげる町づくりを要望

12月定例会の質疑では、今後の復興への考え方や、中学生海外研修に対する具体策など、議員からさまざまな意見や要望が出されました。そのなかの一部をご紹介します。



3年ぶりに再開したみかん狩り

町長給与削減は理解できない

坂本紀一議員 財政難
を理由に町長給与を削減することは理解できません。

給与を下げたから良いというものではなく、その分、責任をもって一生懸命仕事に取り組みべきです。

遠藤町長 町民が耐え

難い苦しみにはいながらも、前町長と同様に町民の痛みを分かち合うことを継承していきたいと思っています。職務に全力を尽くします。



復興へ取り組む行政

中学生海外研修は来年度から実施するのか

坂本紀一議員 新年度
から中学校海外研修を実施するということですか。

また、研修方法はどうようなものですか。
平成26年度から実施に向けて検討していますが、詳細は議員はじめ保護者の皆さまと協議をしながら進めなければならぬと思います。



調理実習にはげむ中学生

設計単価上昇を理由とする変更契約の考えとは

黒田政徳議員 一般競
争入札で決めた契約で、25年度の設計単価が上昇したからといって、労務費単価をあげる変更契約とはどのような考え方ですか。

松本建設課長 今回の場合は、24年度に設計を組んで発注し、25年度末に終わる計画ですが、物価が上がった場合には、約款に基づいて労務費・資材等を現在の価格に上げるよう国から通知されています。その手続きにそった変更契約です。



資材単価や労務単価が上昇



利用者が乗降しやすいようにステップが設置してあるバス

町民バスを低床式バスへ切り替えよ

畑中太子議員 町民バ
スを、乗り口が低床式のコミュニティバスに切り替えたほうがいいと思います。方針はでていますか。

青木総務課長 今後、バスの交換があれば、足の不自由な方でもできるだけ乗りやすいバスにしていきたいと思っています。



下原地区砂利採取場跡地

町は経過を知っていたのか

小磯利雄議員 折木下
原地区の砂利採取場跡地で夏に構築物工事が始まり、ほぼ完成に近づいています。

栃木県のある会社を通じて15万5000㎡の土地所有権が当時の地主から民間の会社に移転しています。この経過を町は知っていましたか。

中津企画グループリーダー
当該地区は砂利採取法に基づく手続きを経なければ、開発行為ができないと認識しています。そして、国土法における土地取引が事後報告になっているため町に情報が入ってきませんでした。議員からの話で初めて承知したということです。現在、県に照会をかけ、確認している状況です。

公正公平な行政運営を
復興に向けた達成事業

大吹地区宅地分譲地と苗代替宅地分譲地は完売し、広洋台空区画分譲地については3区画中1区画売買契約済との説明を受けました。

民の生活再建を支援
(仮称) 広野町津波被災者等住宅再建支援制度の創設

津波または地震により被災した住宅の再建支援を行う町単独の支援となり、平成26年1月を開始時期とし、対象者にさかのぼって支援するとの説明がありました。

日も早い改修を
帰町促進を図るための取り組み

町営住宅の修繕は、平成25年12月から平成26年度にかけ修繕を実施するとの説明でした。



減容化施設建設予定地（岩沢地内）

委員会報告

状況を報告します。

平成25年11月8日 開催
平成25年11月6日 開催
平成25年11月11日 開催

委員会の活動

総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
東日本大震災災害復興に関する特別委員会

委員

歯
科医がないことへの不安払しょくへ
広野町地域医療復興事業

医療機関には、震災後、多くの町民が健康管理・保持に尽力して頂いたことも十分に考慮し、支援が及ぶような措置を講じたいとの説明がありました。

産業厚生
所
期の目的達成に努めるよう提言
平成25年度産米の作付け

資料に基づき説明があり、委員から次のような質疑がありました。
・全袋検査は、何台で行っているのか。また検査はいつ頃終了するのか。



風評被害対策がとられる
広野産米

産業厚生
入
居者に丁寧な説明を
災害公営住宅建設

資料に基づき説明がありました。
①災害公営住宅建築工事進捗状況
②工事工程

建設
設スケジュールの前倒を求める
減容化施設に係る進捗状況

委員会としては、建設スケジュールの前倒（年間）を短縮するように、地元企業の優先的求めました。

速
やかな工事着手へ
災害公営住宅整備事業（2期）

現在の建設戸数では足りないので、26戸の第2期災害公営住宅整備事業を計画したとの説明がありました。

スムーズな入居を
広野町災害公営住宅の入居（第1次）

入居対象者（1次）について説明を受け、月額家賃は町独自の全額減免を考えているとの説明を受けました。



家賃減免が検討される町営住宅

特別委員会
整
合性を図りながら進めよう
町営住宅の家賃減免

平成28年度までの家賃減免について町より説明がありました。

特別委員会
進
捗状況を確認
駅東側開発事業

第1期整備エリアは、企業ゾーン、研究ゾーン、商業ゾーン、住居ゾーン、公共ゾーンで、造成事業は町が行い、民間主導で施設整備を行う。

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成25年9月定例会● 質疑
塩 史子 議員

地震被災者への支援は

東日本大震災で地震の被害も受けたと思いますが、広野町津波被災住宅再建支援基金は、津波被災住宅だけ該当するのですか。
また具体的にはどういうことに使うのですか。

内容を検討しています

この基金は県からの交付金で、津波で被災した住宅を再建する場合のみ使えるものです。
具体的な内容は、検討していますが県の交付要綱にそったかたちで支援方針を定めていくことになります。

地震被災者にも支援を拡大

町では、東日本大震災で、津波または地震により被災した住宅再建などに要する費用の一部を補助するため、「広野町地震津波被災者等住宅再建支援事業補助金」を創設しました。

最大で、250万円の補助を受けることができます。



町内に建設中の住宅（大吹地区分譲地）

一般質問は、公の場である議会
で、議員が議題に関係なく、町長の
考え方や町政の執行状況について
事実の説明を求めたり、所信を
問いたすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

7人の議員が町政を問う

一般質問席

町内で生活できる時期の指標は

遠藤町長／帰還宣言を発令したい

渡邊

①町民が不安
を払拭し、町

内で生活できるよう
に、行政としてその時
期を指標することが必
要と思われるがどの様
に取り組みますか。

②郡内町村と連携し、
帰還困難区域住民の意
向を調査し、宅地提供
を進め双葉郡コミュニ
ティを維持すべきでは
ないですか。

町長

①多くの町民
が、町外での
避難生活を継続してい
る現実を真摯に受けと
め、その改善に向け取
り組みます。

その上で、適切な時
期に町としての帰還宣
言を発令したいと考え
ています。

②双葉郡を構成する自
治体として、双葉郡の
復興の礎となるよう、
郡内住民の想いに応え
ていきたいと考えま
す。

このことから、郡内
町村と連携し、災害公
営住宅の建設や住宅再
建のための宅地造成事
業を展開していきたい
と考えます。



渡邊 正俊 議員



住宅が建設される苗代替宅地



後継者不足が問題となっている農業

町の水田をどう守るのか

遠藤町長／農業後継者の育成が不可欠

渡邊

①農業後継者
不足が問題と
なり、水田を守り継続
していくには、水稻栽
培収入により生活でき
る収益を確保出来るよ
うな状況の整備が必要
であると思いますがど
のように考えますか。

②地域担い手の活動
拠点となるミニリス
センターを整備し、優
良農地の持続的、継続
の確保に向けた取り組
みをすべきではないで
すか。

町長

①水稻栽培に
より収益を確
保するためには、面的
な農地の集約を行い経
営規模を拡大すること
が必要であり、また、
水田を守り継続してい
くためには、農業後継
者の育成が不可欠であ
ると考えます。

今後、就農するため
に大学等で学ぶ者に対
する支援制度の創設等
も前向きに検討したい
と思います。

②今後の国の農業政
策の方針や担い手の意
見、農業後継者の展望、
本町の耕作面積の見込
等を踏まえ、国・県等
の関係機関や専門家の
意見等を伺いながら検
討したいと考えます。

具体的な政治姿勢とは

遠藤町長／女性・高齢者の声を吸い上げ、
みんなで創る男女共同参画の町

塩

新生広野の町
づくりのため、重点取り組み項目

1 「生活再建」の取り組み。
2 「安心」を取り戻す。
3 「発展」を促進する。
4 「情報」を共有する。
5 「教育」を充実する。
と、5つの主張を提示されました。

実際にこういうことをしたいという思いを具体的に聞かせてください。

町長

1 「生活再建」への取り組みです。

・徹底した賠償の実施
・高齢者世代によるふる里再生事業の実施
・行政機構改革への取り組み
2 「安心」を取り戻し、生活環境を整備します。

・医療体制の強化と健康増進事業の展開
・徹底した除染とその効果の検証
・社会福祉協議会への支援及び女性団体等の活性化
3 「発展」を促進し、新しい町づくりを目指します。

・農業の復活と再生
・商業施設の整備
・広野駅東側開発整備事業

4 「情報」を共有し、町民の皆様の意見を反映させます。

・町政懇談会の開催
・全国へ向けた情報発信

・広域交流事業の展開
5 「教育」を充実し、町存続をたくす子どもたちを育てます。

・安全・安心な教育環境の整備



塩 史子 議員

・学力向上への取り組み
・国際交流事業の展開

・広域的観点に立ち、中高一貫校の設置への支援、双葉郡内住民のための災害公営住宅等の整備を支援していきます。



町の将来を担う小学生（アシモ特別授業）

町長給与減額を継続していくのか

遠藤町長／引き続き減額したい

塩

前町長は就任以来、削減した財源で少しでも町民のサービスに役立つことができればという思いから給料30%減額を実施してきましたが、町長はそれを継続していくのですか。

町長

震災復興へ向けて本町の厳しい財政状況と町民生活の実情を真摯に受け止め、引き続き給与の減額をしたいと考えます。

町村合併の考え方は

遠藤町長／現段階での町村合併は考えていない

塩

いずれ双葉郡は合併しなればならないという声も聞こえてくるようになってきたように感じるところですが、町長はどのような考えですか。

町長

本町が今まで培ってきた歴史、文化、風土を継承しつつ、東日本震災および原発事故を乗り越えた新しい町づくりに邁進していくことから、現段階での双葉郡内の町村合併については、考えていません。

町政運営の方針は

遠藤町長／町民との対話を重視した町づくり

北郷

町の舵取りを負託された町長は、今後、どのような町政運営の方針に基づき、町づくりを推進していきますか。

また、町民との情報共有、住民参加の町づくりが必要ではないでしょうか。

町長

住民の代表者からなる「広野町復興計画策定協議会」を組織し、「広野町復興計画（第一次）」の見直しを行っていますが、「第四次広野町町政勢振興計画」の見直しも同様に、住民の声が反映できる組織編成により策定して行くこととしています。

町づくりは、町民との協働が不可欠であり、今後とも町民との対話を重視した町づくりに努めていきます。



北郷 幹夫 議員



パークゴルフを楽しむ二ツ沼総合公園来場者

予算編成の考え方・取り組み方は

遠藤町長／町民の声を適切に反映

北郷

予算編成権と予算執行権を持つている町長が、新年度の予算編成に、どのような考え方、姿勢で取り組みますか。

また、具体的な重点事業は何ですか。

町長

事業の必要性・優先度を十分に検証し、町民の声を町の施策に適切に反映させることができるような予算配分を行っていきます。

また、歳入も、国・県交付金等を効率よく活用するなど、あらゆる方策を講じて財源確保に努めます。

なお、具体的な重点事業は、行政機構改革、ふる里再生事業、商業施設の整備、災害公営住宅第二期の建設、二ツ沼総合公園の再生、徹底した除染とその検証、医療体制の強化、高齢者福祉の充実、農業の再生、駅東側開発事業、町政懇談会の開催、中学生国際交流事業など、新生広野の町づくりの実現に向け、多岐にわたる取り組みます。

リーダーとしての姿勢とは

遠藤町長／町民からの信頼と安心が
得られるよう取り組む

門馬 ①町議会議員
当時、寄附行

為の発言がありました。
③個人情報保護で、
町のみなし借り上げ住
宅に、本人が住所を公
開していないにもかか
わらず、必要としない

その発言の趣旨と結
果を尋ねます。
②審判を受けるにあた
り、戸別訪問などの不
信を抱かれるような行
動は誠に慎まなければ
なりません。選挙活
動を振り返りその認識
を尋ねます。

これらを管理する責
任者としての見解を尋
ねます。

また、妻が寄附する
ことを、事前に町選挙
管理委員会に相談し、
問題がないことを確認
し、妻が働いて得た収
入のなかから捻出して
いますが、当時、妻は、
寄附の公表を望んでい
なかったため、私の言
葉足らずな話から、誤
解を与えたものと思
います。



門馬 巧 議員

町長

①東日本大震
災および原発
事故により心を痛めた
私の妻が、少しでも町
の復興のために役立て
ばという思いから、寄
附をしたことかと思
います。

②選挙活動で、戸別訪
問など、不信を抱かれ
るような行動は、誠に
慎まなければなりません。
今回の選挙戦を振り
返り、私はこれらの法
令を遵守しつつ選挙運
動を行ったと認識して
います。

③個人情報の適正な取
り扱いにより業務を執
行していますが、今後
も情報セキュリティ
の強化を図るととも
に、研修等を通して職
員の意識をより一層高
め、町民からの信頼と
安心が得られるよう取
り組みます。



質問に答弁する町長

県内原発10基の廃炉を求めよ

遠藤町長／立地町の判断を尊重

畑中

①町長は、議
員であつた平

成24年9月定例会で、
「福島県内すべての原
発の廃炉の決議を求め
る請願書」の採択に反
対しましたが、現在は、
福島原発10基すべての
廃炉についてどのよう
に考えていますか。

②その考えにいたつ
た理由を尋ねます。

③改めて、平成24年
9月定例会で請願書採
択に反対した理由を尋
ねます。

町長

双葉郡内の原
発立地4町の

考えを優先すべきとの
思いがあり、当時、原
発立地4町の考えが示
されていませんでした
ので反対しました。

現在は、平成25年8
月に、原発立地4町で
福島第一・第二両原発
の廃炉を国と東京電力
に求める方針を確認し
ています。

この原発立地4町の
判断を尊重したいと考
えています。

賠償への働きかけは

遠藤町長／強く働きかけを行う

畑中

①平成24年の
8月で終わり

とされた精神的損害賠
償を復活継続すること
への期待が新町長に寄
せられていますか、ど
のように考えますか。

②国や東電の賠償に対
する姿勢や考え方を
変えるためにはどのよ
うに働きかけをしま
すか。

町長

①町民生活が
原発事故以前

の生活を取り戻せる期
間までの延長や、被災
者救済のための新たな
支援制度の創設に向け
て、関係自治体との連
携のもと強く働きかけ
を行っていきます。

②現地の実情把握の
もとに確に進められる
よう、目標達成に向け
て粘り強く要望活動を
展開していきます。

医療費無料化継続を求めよ

遠藤町長／引き続き国に要望

畑中

平成26年2月
末までの医療

費無料の継続を求め
るべきではないです
か。

町長

医療費等の一
部負担及び保

険料等の減免は、町民が
震災以前の生活を取り
戻し、安心して暮らせ
る状況になるまで、
継続すべきと考えて
います。

医療費の無料に係る財
政的支援も含め、引き
続き国に要望していき
ます。

特定秘密保護法の撤廃を

遠藤町長／情報が明らかになったときに判断

畑中

①国会で強行
採決された特

定秘密保護法について
どのような感想を持
ちましたか。

②この法案は政府の
恣意的情報操作がよ
り行いやすくなる法
律です。

町民の避難が遅れ、
被ばく等の危険を回避
できるような情報開
示が求められると思
います。

秘密保護法の撤廃を
求めるべきではない
ですか。

町長

①安倍首相自
身も「丁寧

に説明すべきだった。」
と話しているとおり、
審議する期間を長く
設けて説明すべきであ
ったと感じています。

②「特定秘密」は、
国の存立にとって重
要な情報を対象にし
ていますが、その範
囲が明確にされてい
ないと思われま
す。

指定の統一基準を策
定する「情報保全諮
問会議」および運用
の妥当性を判断する
「保全監視委員会」
の設置方針を安倍
首相は表明してい
ますが、現在、そ
の中身について明
確にされていません。
これらの中身に係
る情報が明らかにな
ってから判断したい
と考えています。

畑中 大子 議員



県内原発全基廃炉について

遠藤町長／立地町の判断を尊重

小磯 原発の廃炉を町として判断すべきと考えます。

県・県議会・原発立地町も廃炉に向け進んでいます。廃炉に対する町長の見解を尋ねます。

町長 原発立地4町で福島第一・第二両原発の廃炉を国と東京電力に求める方針を確認しています。この原発立地4町の判断を尊重したいと考えます。

生活環境整備をどのように進めるのか

遠藤町長／商業施設の整備や医療体制の強化に重点的に取り組む

小磯 町民の生活環境整備を目的に、長期の避難指示を原因として機能低下した各施設の機能を回復すべきではないですか。具体的にどのような進め方ですか。

町長 商業施設の整備は、町内で再開した商業施設の事業継続のための支援や新たなスーパールの誘致に、医療体制の強化は、現在町内において診療を継続・再開している医療機関に対する診療継続のための支援が最優先であり、国及び県に対して支援策を強く要望してまいります。老朽化した小滝平浄水場を整備するための財政支援を国に求めたいと考えます。

損害賠償と優遇措置の継続は

遠藤町長／強く働きかけを行う

小磯 避難生活を余儀なくされている精神的苦痛及び不動産に対する個人損害賠償と行政損害賠償を、さらに固定資産税や医療費減免、高速道路利用無料など優遇措置を継続すべきではないですか。

町長 損害賠償は町民生活が原発事故以前の生活を取り戻せる期間までの延長や、被災者救済のための新たな支援制度の創設に向けて、関係自治体との連携のもと強く働きかけを行います。さらに、固定資産税や医療費減免、高速道路利用料金無料化などの優遇措置も、損害賠償同様、国に強く要望してまいります。

中高一貫校の具体的な内容は

遠藤町長／今後、県から具体的に示される

小磯 子供たちの受け入れ教育機関として、施設（ハード面）と人材育成（ソフト面）はどのように図るのですか。

町長 今後、県教育委員会から町に對し具体的に示され、協議することになります。町としての支援体制を構築してまいります。

今後の農業振興対策とは

遠藤町長／農家と共に検討したい

小磯 国はTPPを背景に減反廃止、規制緩和、大規模化を推進し、生産コストの低減を図ろうとしています。さらに本町農家は農地の放射能汚染と風評被害を被っています。

町長 担い手への農地の面的集約を進め、農業の後継者育成の支援制度の創設や、6次産業化等を見据え、生産品目の転換や農業の複合化など農家と共に検討していきます。

タブレット端末を無料配布せよ

遠藤町長／伝達手段の評価・検証を行う

小磯 タブレット端末を各世帯に無料配布することで、即時にあらゆる情報の配信とアンケート回収など双方向通信が可能となり、緊急避難指示、行政回覧、生活支援等に利用されると考えますが、町長の見解を尋ねます。

町長 町民に格差なく情報を伝達していくため、タブレット端末の導入を含め、各情報伝達手段の評価・検証を行い、情報発信の強化・充実に努めます。

保健相談体制の3力年強化は

遠藤町長／より多くの方が参加できるよう周知

門馬 第一次広野町復興計画の中で、特に保健相談体制は、3力年計画で強化があげられています。が、町内、町外に分けて利用者の実績を尋ねます。

町長 昨年度はいわき市内が9カ所、438回、延べ3280人、町内が1カ所、3回、延べ7人の参加がありました。今年度は11月末現在、いわき市内が9カ所、360回、延べ2020人、町内が5カ所、29回、延べ224人の参加がありました。

保健師の本庁配置を

遠藤町長／組織運営の在り方を検証

門馬 震災後、介護を要する高齢者の数は、増加の状況にあるといわれています。多様化、高度化する町民ニーズに 대응するために保健師を保健センターから本庁内に配置すべきではないですか。

町長 今後、保健師の本庁舎配置は、町民ニーズに的確に対応できる行政サービスに配慮した組織運営の在り方を検証し、必要な体制整備を図ってまいります。



町民の健康を支える保健センター



健康な生活が送れるように日々の運動・体操が大切です



ま ちかど インタビュー

伝統ある双葉郡の教育環境をより良いものに 双葉郡の中高一貫校を広野町に設置

県で方針化された、双葉郡の中高一貫校設置が
広野町に決定しました。双葉郡全体の復興となる、
魅力ある学校として期待されています。
双葉郡内の教育環境に対する意見や感想をお伺
いしました。



渡辺 幸寿さん
(折木)

ませんが、若い人達が集ま
る町になってくれば、広
野町の再生、発展になる
と思うし、双葉郡民の希望に
もなると思うので27年4月
の開校を、楽しみにしてい
ます。

避難生活が長期化し、双
葉郡内の高校が全て存続が
難しい状態の中で県立の中
高一貫校の設置が広野町に
決定したことは、町にとつ
ても俺達にとつてもとても
いいことだと思っています。
どんな方法で生徒を募集
し、どんな内容の学校にな
るのが詳しいことは分かり



議場を見学する広野中学校生徒



猪狩 康恵さん
(広洋台)

私には中学3年と小学4年
の息子がいます。

それぞれ広中、広小に通つ
ています。下の子は今から
「僕、その学校に行きたい」
と胸をふくらませています。
親にとって子供たちの学校の
送り迎えを考えると地元を高
校があるということはとても
助かりますので、もっと早く
作ってほしかったと思います。
高校が出来るということでは
子供たちの目標となり、広中
の生徒が一人でも増えて、学
力の向上や部活の活性化につ
なげばと思っています。

編集後記

あけましておめで
とうございます。

大震災と原発事故
から3度目の新年を
迎えました。

町中では、駅を中
心に常磐線の久保田
こ道橋や災害公営住
宅の建設工事など、
町復興計画の具現化
に向けて事業が本格
的に進んでいます。

加えて平成27年4
月には、双葉郡8町
村が教育復興構想の
柱に位置づけている
中高一貫校の高校が
広野町に開校する見
通しです。

大震災を経て大き
く変貌を遂げつつあ
る広野町ですが、復
興の礎となる人材の
育成拠点となるよう
に町議会も協力を
惜しまず、子供たち

が夢や希望を持てる
環境整備に努め、一
日でも早く、住み慣
れた我が家や地域で
生活再建ができるよ
う支援して行きま
す。(渡辺 久長)



建設中の災害公営住宅

発行・編集責任者
議長 鈴木紀昭
広報委員会

委員長 渡邊正俊
副委員長 北郷幹夫
委員 塩 史子
委員 渡辺久長
委員 門馬 巧
委員 畑中 大子
委員 小磯利雄

次の定例会は3月です